

令和7年クリーニング師試験問題

【令和7年10月5日：岩手県】

《衛生法規に関する知識》

問1 次の文は、クリーニング業法、クリーニング業法施行令及びクリーニング業法施行規則（以下「クリーニング業法等」という。）について述べたものであるが、【　】の中に当てはまる適切な語句を下の語群の中から選び、その記号を指定する解答欄に記入しなさい。

(5問×5点=25点)

- (1) クリーニング業法は、クリーニング業に対して、公衆衛生等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もつてその経営を【解答欄(1)】に適合させるとともに、利用者の利益の擁護を図ることを目的とする。
- (2) この法律で「クリーニング業」とは、溶剤又は洗剤を使用して、衣類その他の繊維製品又は皮革製品を【解答欄(2)】洗たくすること（繊維製品を使用させるために貸与し、その使用済み後はこれを回収して洗たくし、さらにこれを貸与することを繰り返して行なうこと）を含む。)を営業とすることをいう。
- (3) 【解答欄(3)】の疾病の病原体による汚染の恐れのあるものとして厚生労働省令で指定する洗濯物を取り扱う場合においては、その洗濯物は他の洗濯物と区分しておき、これを洗濯するときは、その前に消毒すること。ただし、洗濯が消毒の効果を有する方法によつてなされる場合においては、消毒しなくてもよい。
- (4) クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、厚生労働省令で定めるところにより、都道府県知事が厚生労働省大臣の定める基準に従い指定したクリーニング師の【解答欄(4)】を図るための研修を受けなければならない。
- (5) クリーニング所においては、苦情の申出先となるクリーニング所の名称、所在地及び電話番号を【解答欄(5)】に掲示しておくとともに、洗たく物の受取及び引渡しをしようとする際に、当該掲示事項を記載した書面を配布する。

[語群]

- | | | | | |
|---------|----------|---------|---------|------|
| ① 公共の福祉 | ② 労働環境改善 | ③ 解体して | ④ 個人の権利 | ⑤ 店頭 |
| ⑥ 免疫性 | ⑦ 原型のまま | ⑧ 資質の向上 | ⑨ 伝染性 | ⑩ 商品 |

問2 次の文は、クリーニング業法等に規定する「営業者の衛生措置等」及び「利用者に対する説明義務等」について述べたものであるが、正しいものには○印を、誤っているものには×印を指定する解答欄に記入しなさい。 (5問×5点=25点)

- (1) クリーニング所開設時に届け出た事項に変更が生じたときは変更の届出が必要とされている。ただし、従事者中にクリーニング師のある場合において、その本籍、住所、氏名及び生年月日並びに登録番号に変更があった場合は変更の届出は不要である。 【解答欄(6)】

(2) 相続による営業者の地位の承継の届出をしようとする者は、①届出者の住所、氏名及び生年月日並びに被相続人との続柄、②被相続人の氏名及び住所、③相続の開始年月日、④クリーニング所又は無店舗取次店の名称、⑤クリーニング所の所在地又は無店舗取次店の業務用車両の保管場所及び自動車登録番号若しくは車両番号を記載した届出書をクリーニング所の開設地又は無店舗取次店を営業しようとする区域を管轄する都道府県知事に提出しなければならない。

【解答欄(7)】

(3) クリーニング師の免許を受けようとするときは、本籍、住所、氏名及び生年月日を書いた申請書に①戸籍謄本、戸籍抄本又は本籍の記載のある住民票の写し、②業務を行おうとする場所を記載した書類を添えて都道府県知事あてに提出する。ただし、提出先の都道府県知事は問わない。

【解答欄(8)】

(4) クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後一年以内に法第八条の二の規定によるクリーニング師の研修を受けることとされている。

【解答欄(9)】

(5) クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後、クリーニング師の研修を1度受講すれば、その後は受けなくてよい。

【解答欄(10)】

問3 次の文は、クリーニング業法等に規定する「営業者の衛生措置等」及び「クリーニング師免許」に関することについて述べたものであるが、()内のうち正しいものを選び、その記号を指定する解答欄に記入しなさい。

(4問×5点=20点)

(1) 洗い場については、床が、【解答欄(11)】(①浸透性材料 ②不浸透性材料)で築造され、これに適当な勾配と排水溝が設けられていること。

(2) クリーニング師が免許証を破り、汚し、又は失つたときは、その旨を書き、破り、又は汚した場合においてはその免許証を添え、【解答欄(12)】(①一月 ②半年)以内に免許を与えた都道府県知事に再交付の申請をしなければならない。

(3) クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、【解答欄(13)】(①十日 ②一月)以内に、免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。

(4) 法第十二条の規定により免許の取消処分を受けた者は、【解答欄(14)】(①五日 ②十日)以内に免許を与えた都道府県知事に返納しなければならない。

問4 次の文は、クリーニング業法等に規定する「営業者の衛生措置等」、「クリーニング所の使用」及び「罰則」について述べたものであるが、正しいものには○印を、誤っているものには×印を指定する解答欄に記入しなさい。

(4問×5点=20点)

(1) 営業者は、クリーニング所以外において、営業として洗たく物の処理を行い、又は行わせてはならない。

【解答欄(15)】

(2) 洗濯物を洗濯又は仕上げを終わつたものと終わらないものに区分しておくこと。【解答欄(16)】

(3) 営業者は、そのクリーニング所の構造設備について都道府県知事の検査を受け、その構造設備が第三条第二項又は第三項の規定に適合する旨の確認を受ける必要がある。なお、当該クリーニング所の使用は適合する旨の確認を受ける前から可能である。

【解答欄(17)】

(4) 第十条第一項の規定による保健所職員の検査（立入検査）を拒み、妨げ、又は忌避した者は、二千円以下の罰金に処する。 【解答欄(18)】

問5 次の文は、クリーニング業に関する法律について述べたものであるが、() 内のうち正しいものを選び、その記号を指定する解答欄に記入しなさい。 (2問×5点=10点)

(1) 水質汚濁防止法：クリーニング所においては、洗濯業の用に供する洗浄施設が【解答欄(19)】（①指定施設 ②特定施設）に該当する。

(2) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律：その事業活動に伴い特別管理産業廃棄物を生ずる事業場を設置している事業者は、当該事業場ごとに、当該事業場に係る当該特別管理産業廃棄物の処理に関する業務を適切に行わせるため、【解答欄(20)】（①特別管理産業廃棄物管理責任者 ②安全衛生責任者）を置かなければならない。

《公衆衛生に関する知識》

問6 次の文は、クリーニング所における衛生管理要領における「管理」について述べたものであるが、【 】の中に当てはまる適切な語句を下の語群の中から選び、その記号を指定する解答欄に記入しなさい。 (5問×5点=25点)

(1) クリーニング師は、前記の趣旨（衛生法規に関する知識、公衆衛生に関する知識並びに洗濯物の処理に関する専門知識及び技能等を有する者であり、当該クリーニング所の衛生管理を行う上の実質的な責任者であること）を十分認識し、施設、設備等の衛生管理、有機溶剤等の適正な使用管理、【解答欄(21)】従事環境の確保等について、当該クリーニング所の他の従業者に指導的立場から関与すること。

(2) クリーニング師は、当該クリーニング所において、洗濯物の処理に関する品質管理の実質的な責任者として、【解答欄(22)】クリーニングサービスの提供に努めること。

(3) クリーニング所で洗濯物を受け取る場合、まず営業者は洗濯物を点検し、利用者との間で洗濯物の状況を【解答欄(23)】上で、クリーニングを行うに当たり、洗濯物の処理方法等について特に説明を要する場合や、洗濯物に異常が確認された場合は、利用者にその旨を伝えること。

(4) ドライクリーニング処理を行う場合は、溶剤中の【解答欄(24)】を常に点検し、適正な濃度の維持に努めること。

(5) 営業者又はクリーニング師は、施設、設備及び器具の衛生管理、洗濯物の適正な処理及び衛生的な取扱い並びに洗剤、【解答欄(25)】の適正な使用等について常に従業者の教育、指導に努めること。

【語群】

- | | | | |
|-----------|------------|-----------|-----------|
| ① 一方的に伝えた | ② 衛生的で質の高い | ③ 相互に確認した | ④ 洗剤濃度 |
| ⑤ 有機溶剤等 | ⑥ 洗剤 | ⑦ 洗濯機 | ⑧ 効率的な |
| ⑩ 汚れ | | | ⑨ 衛生的で安全な |

問7 次の文は、クリーニング所における衛生管理要領について述べたものであるが、正しいものは○印を、誤っているものには×印を指定する解答欄に記入しなさい。(9問×5点=45点)

(1) 仕上場には、洗濯物の仕上げを行うための専用の作業台を設けなければならない。

【解答欄(26)】

(2) ドライクリーニング処理を行うクリーニング所には、有機溶剤の清浄化に伴って生じるスラッジ等の廃棄物を入れる容器を備えること。なお、ふたの有無は問わない。 【解答欄(27)】

(3) 指定洗濯物については、他の洗濯物と区分して消毒するか、又は消毒の効果を有する洗濯方法により処理し、これが終了するまでは専用の容器等に納め、他の洗濯物と接触しないよう区分すること。 【解答欄(28)】

(4) ドライクリーニング処理による洗濯物の乾燥は、乾燥機等の装置内で、使用した有機溶剤の種類等に関わらず一律に同じ温度で行うこと。 【解答欄(29)】

(5) 仕上作業は洗濯後速やかに行う必要があることから、手指を清潔にし、清潔な作業衣等を着用する必要はない。 【解答欄(30)】

(6) 仕上げの終った洗濯物については、処理が適正に行われたかどうか確認を行うこと。特に、おしほり、おむつ等の指定洗濯物については、適宜細菌検査等を行い、消毒及び処理の結果を確認すること。 【解答欄(31)】

(7) 営業者は、常に従業者の健康管理に注意し、従業者が結核や感染性の皮膚疾患にかかったときは、営業者はこの旨を保健所に届け出る必要がある。なお、当該従業者の体調に問題ない場合に限り、治癒していなくても作業に制限はかかるない。 【解答欄(32)】

(8) 洗濯物の格納設備又は容器及び運搬・集配容器は、塩素剤又は界面活性剤等の水溶液を用いて浸漬〈せき〉又は清拭〈しき〉等により消毒するか、又はホルムアルデヒドガスにより消毒することが望ましいこと。 【解答欄(33)】

(9) 引火性溶剤の保管量は、できる限り抑制すること。 【解答欄(34)】

問8 次の文は、クリーニング所における衛生管理要領に規定する「管理」及び「引火性溶剤の扱い」について述べたものであるが、() 内のうち正しいものを選び、その記号を指定する解答欄に記入しなさい。(6問×5点=30点)

(1) 施設内、特に引火性溶剤の保管場所、作業所は、換気を【解答欄(35)】(①しない ②十分にする)こと。特に、ドライクリーニング処理を行うクリーニング所については、大気汚染防止法等に留意し、環境汚染防止に努め、気化した有機溶剤の排気又は回収に配慮すること。

(2) 洗濯機、脱水機等の機械、作業台、運搬・集配容器等の洗濯物が接触する部分(仕上げの終った洗濯物の格納設備又は容器を除く。)は、【解答欄(36)】(①毎日 ②1週間に1回)業務終了後に洗浄又は清掃し、仕上げの終った洗濯物の格納設備又は容器は、少なくとも1週間に1回以上清掃を行い、常に清潔に保つこと。

(3) 特に営業者(管理人を含む。以下同じ。)又はクリーニング師は、毎日クリーニング所の施設、設備及び器具の【解答欄(37)】(①衛生全般 ②衛生の一部))について点検管理すること。

- (4) 熱湯による消毒は【解答欄(38)】(①70°C ②80°C) 以上の熱湯に10分間以上浸すこと
(温度計により温度の確認をすること。)。
- (5) 引火性溶剤は、洗濯機や乾燥機等からできるだけ【解答欄(39)】(①隔離して ②近くに) 保管すること。
- (6) 洗濯物を乾燥機に移し替える際は、静電気の発生を抑えるため、【解答欄(40)】(①布製 ②金属製) の容器を利用し、素早く移し替えること。

《洗濯物の処理に関する知識》

問9 次の文は、繊維について述べたものである。【 】の中に当てはまる正しい語句を下の語群の中から選び、その記号を指定する解答欄に記入しなさい。 (20問×2点=40点)

- (1) 人類が歴史上長く用いてきた天然繊維のうち現在最も生産量が【解答欄(41)】いのは綿である。綿はアオイ科ワタ属の植物で、【解答欄(42)】の部分を利用しておらず、綿繊維の断面には【解答欄(43)】と呼ばれるつぶれた中空がみられる。また、主成分は高分子の一つである【解答欄(44)】で、親水基である水酸基(-OH)を非常に多く含んでいるため、【解答欄(45)】が高い。
- (2) 一方、動物からとれる繊維の主成分は【解答欄(46)】である。このうち日本でも古くから飼育し利用してきたのは絹で、天然繊維では唯一の【解答欄(47)】である。絹繊維の断面形状は【解答欄(48)】で、これが優雅な【解答欄(49)】を生み出している。また、毛と同じく紫外線に【解答欄(50)】いので、洗濯後は【解答欄(51)】に干すのが望ましい。
- (3) 化学繊維の歴史は1800年代後半からはじまる。そのうち、天然の木材パルプやコットンリナーを原材料として薬品で溶解し、この溶液をノズルから押し出して固め、繊維状にした繊維を【解答欄(52)】繊維と呼び、【解答欄(53)】や【解答欄(54)】がこれに属する。一方、比較的新しい【解答欄(52)】繊維として、1988年にイギリスのコートルズ社が生産を始めたのが【解答欄(55)】である。これはテンセルとも呼ばれ、組成表示にも「指定外繊維」として掲載が認められている。
- (4) 化学繊維の中でも特に【解答欄(56)】を原料として作られた繊維は合成繊維に分類され、1935年に発明された【解答欄(57)】が最初である。一方、現在合成繊維で最も多く生産されているのは【解答欄(58)】で、これは天然繊維を含む全繊維で比較しても第1位である。これに【解答欄(59)】を加えて3大合成繊維と呼んでおり、この3種の合計生産量は合成繊維全体の約【解答欄(60)】%を占めている。

[語群]

- | | | | | | | | |
|--------|--------|--------|----------|---------|---------|------|-------|
| ① 円形 | ② 三角形 | ③ 再生 | ④ 半合成 | ⑤ セルロース | ⑥ タンパク質 | | |
| ⑦ 多 | ⑧ 少な | ⑨ 強 | ⑩ 弱 | ⑪ 33 | ⑫ 66 | ⑬ 99 | ⑭ 日なた |
| ⑮ 日かけ | ⑯ 長繊維 | ⑰ 短繊維 | ⑱ ナイロン | ⑲ レーヨン | | | |
| ㉐ リヨセル | ㉑ アクリル | ㉒ キュプラ | ㉓ ポリエステル | ㉔ ルーメン | | | |
| ㉕ 原油 | ㉖ 種子 | ㉗ 光沢 | ㉘ 水分率 | | | | |

問 10 次に示す文章は、繊維や糸、布に関する様々な性能や性質を述べたものである。文章を読んでそれがどんな性質を述べているのかを判断し、その名称を語群から選んでその記号を指定する回答欄に記入しなさい。
(15問×2点=30点)

- (1) 【解答欄(61)】 繊維や布に対するエネルギーの伝わり方（エネルギーが流れる速度）の度合いを表す性質。保温性に大きく関係する。
- (2) 【解答欄(62)】 布がその重さで垂れ下がる状態のときに自然にできるひだのこと、ひだの量や形の美しさから評価される性質。
- (3) 【解答欄(63)】 繊維の表面に気相の水分、水蒸気が付着したり、繊維の内部に水蒸気が侵入する性質。
- (4) 【解答欄(64)】 布間、または布と他の物体間に生じる摩擦、接触。剥離作用によっておこる電子の偏りのこと、主に静電気の発生しやすさに関係する性質。
- (5) 【解答欄(65)】 繊維や布を引っ張ってどれだけ伸びたかや、引っ張りをやめたときにどれだけもとの長さまで回復したかを示す性質。
- (6) 【解答欄(66)】 繊維が酸やアルカリ、塩や有機溶媒に触れたときに膨潤、溶解、腐食、変色などの変化を生じる性質。
- (7) 【解答欄(67)】 布などに対し、一方の面から他方の面に水蒸気が移動する性質。
- (8) 【解答欄(68)】 洗濯による染色布の変退色（色落ちや移染）の度合いを示す性質。
- (9) 【解答欄(69)】 布の一方の面から他方の面に空気が移動する性質で、その大小は布の組織。糸密度、糸の太さなどに影響を受ける。
- (10) 【解答欄(70)】 繊維製品が日光や雨、温度や湿度などの環境の影響を受けても、外観の変化や強度の低下などが生じにくい性質。
- (11) 【解答欄(71)】 布に外力が加わったときにみられる変形の一つで、曲げやすさや曲げにくさの度合いを表す性質。
- (12) 【解答欄(72)】 布を構成する繊維や糸の間隙などに、毛細管現象によって液相の水分を吸収する性質。
- (13) 【解答欄(73)】 布表面に不必要的折り目や凸凹がどれだけつきにくいかを示す性質。
- (14) 【解答欄(74)】 布やわたには空隙が多く、その体積は繊維と空気から成り立っている。このように被服材料が内部に空気を含んでいる性質。
- (15) 【解答欄(75)】 布などで身体を覆った場合に、身体からの熱を外気中に逃がさず保つような性質。

[語群]

- | | | | | |
|--------|---------|-------|--------|----------|
| ① 伸縮性 | ② 吸湿性 | ③ 保温性 | ④ 耐候性 | ⑤ 洗濯堅ろう性 |
| ⑥ 透湿性 | ⑦ 含気性 | ⑧ 通気性 | ⑨ 吸水性 | ⑩ 防しわ性 |
| ⑪ 耐薬品性 | ⑫ ドレープ性 | ⑬ 剛軟性 | ⑭ 熱伝導性 | ⑮ 帯電性 |

問 11 次の文章を読み、書かれている内容がすべて正しいものには○を、1か所でも誤っているものには×を、指定する解答欄に記入しなさい。 (5問×4点=20点)

- (1) ランドリー洗濯用の水は、硬度成分（主にカルシウムイオン、マグネシウムイオン）が多い硬水が適しており、軟水に比べて洗浄効果も高い。 【解答欄(76)】
- (2) 洗濯では十分に除去できなかった汚れに対しては、漂白を行うことがある。各種漂白剤のうち、酸化型の塩素系漂白剤は、白物衣料にのみ使用でき、色柄物は脱色の恐れがあるため適さない。 【解答欄(77)】
- (3) ウエットクリーニングは、ランドリーとともに商業洗濯の水系洗浄の一つである。ランドリーが比較的デリケートな衣類を対象としているのに対し、ウエットクリーニングは石けんやアルカリ剤を用い、ワッシャーで行う洗浄作用の強い洗濯方式で、比較的丈夫な衣類を対象に行う洗濯方法である。 【解答欄(78)】
- (4) ドライクリーニングで用いられるドライ溶剤は、初期のテレピン油に始まり、その後、ベンゼン、石油系溶剤、塩素系合成溶剤と、洗浄装置の進歩とともに発展してきている。その流れの中で、現在主流となっているのは、フッ素系溶剤である。 【解答欄(79)】
- (5) ドライクリーニング後の衣類は、プラスチック製の袋やカバーがかけられて返却されることが多い。この袋やカバーは衣類をほこりやチリなどの付着から守るためにも、基本的にははずさずそのまま保管したほうが良い。 【解答欄(80)】

問 12 次の問題の答えを下の数字群の中から選び、その記号を指定する解答欄に記入しなさい。

(2問×5点=10点)

- (1) 洗濯乾燥機を用い、洗濯液量を 200 リットルとしてワイシャツを洗濯したいと思います。洗剤原液濃度 20% の業務用洗剤を用い、濃度を 0.2% に希釈して洗濯を行う場合、業務用洗剤は何リットル必要ですか。 【解答欄(81)】リットル
- (2) 濃度 30% の市販アンモニア水を使って、しみ抜き用として 5% アンモニア水を作りたいと思います。希釈した 5% アンモニア水を 300 グラム作りたいのですが、市販アンモニア水は何グラム必要ですか。 【解答欄(82)】グラム

[数字群]

- ① 2 ② 5 ③ 20 ④ 50 ⑤ 200 ⑥ 500